

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～中学校美術科～

第2学年題材名 パッケージのデザイン(第1/7時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容から主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。(思考力, 判断力, 表現力等)

こんな授業になっていませんか？

【教師の発問】

これから、栃木の特産品を使った商品のパッケージデザインをしていきますよ。



教科書や資料などを参考にしながら、アイデアを出していきましょう。



【生徒の反応】

どんなデザインにすればいいのかな？



教科書や資料のどんなところを参考にすればよいかよく分からない。



単に参考資料を提示するだけでは、生徒は表面的に見るだけの活動で終わってしまいます。また、考える時間を確保することは大切ですが、生徒が想像力を膨らませたイメージをどう表現するかについて考えるには、十分ではありません。

「見方・考え方」を働かせる意識をフラス！

「造形的な見方・考え方」とは

よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。

* [共通事項]

ア 形や色彩, 材料, 光などの性質や, それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に, 全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

生徒が「見方・考え方」を働かせるためには

自分の感性や想像力を十分に働かせる学習活動を展開することが重要です。

美術科は、形や色彩などに対する豊かな感覚を働かせて表現及び鑑賞の学習に取り組む教科です。感性は、創造活動において、対象や事象を捉えたり思考・判断やイメージをしたりするときの基になる力として働くものです。そのため、活動の主体である生徒が、自分の感性や想像力を十分に働かせることができるような学習活動の設定や指導の工夫をしていくことが大切です。

また、[共通事項]*を指導の中に適切に位置付け、造形的な視点を豊かに働かせるようにするとともに、実感を伴いながら理解できるように学習の充実を図っていきます。そして、造形的な視点を基に、どのように思考するかということを生徒一人一人にしっかりともたせるようにすることが必要です。

授業を こう変える！

- ・実物のパッケージを提示し、実際に見たり触れたりする場面を設けることで、それぞれのデザインのよさなどに気付かせたり、感じ取らせたりする。…**[1]**
- ・複数のデザインを比較させ、形や色彩の相違点などを考える発問をすることで、対象を造形的な視点で捉えられるようにする。…**[2]**
- ・考えたことや想像したことを言葉に書き留めさせることで、考えを整理したり、広げたりできるようにする。…**[3]**

このような授業にしていきたいと思います！

【参考資料等の提示の工夫】…1



今日は、地域の特産品を使った商品のパッケージを持ってきましたよ。実際に手に取ってみて、感じたことや気付いたことを近くの人と話し合しましょう。



パッケージの内容だけでなく、商品の味や香りも伝わってくるように工夫されているデザインもあるわ。

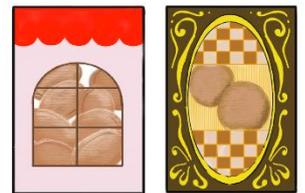
そうだね。よく見ると、文字の形や色彩も工夫されているよ。文字もデザインの大事な要素なんだね。



〈生徒の姿〉
実物に触れ、話し合う中で、パッケージデザインの高さや特徴について気付いています。

【造形的な視点で対象を捉えるための工夫】…2

さて、二つのクッキーのパッケージがあります。同じクッキーでも、デザインは違いますね。それぞれの違いや共通点について考えてみましょう。



右の方は、上品で大人っぽい感じがします。

どんなところから、そう感じましたか。

品のある模様や、落ち着いた感じの色からそう思いました。

なるほど、模様や色からそう感じたのですね。



〈生徒の姿〉
対象を見て感じたことの根拠を、形や色彩などの造形的な視点をもって捉えています。

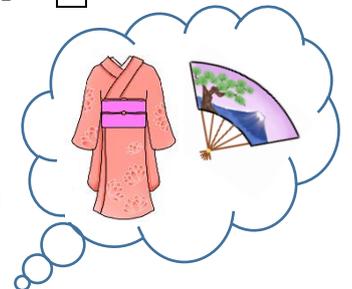
【考えたことを整理させたり、想像したことを更に広げさせたりするための工夫】…3

パッケージデザインで、あきさんは、どのような感じのデザインにしたいと考えていますか。

私は、全体的に「和風」な感じのデザインにしたいです。

では、「和風」からどんなものを想像しますか。

和服や扇子、前に習った雪舟の絵などです。



いろいろ思い浮かびましたね。今のように想像したことや考えたことを言葉に書き留めておきましょう。言葉で考えを整理したり、言葉から発想を広げたりすることで、伝えたいことが明確になっていきますよ。



〈生徒の姿〉
表したいイメージを言葉にし、言葉から更に想像を広げています。

ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

互いの作品を鑑賞する場面で



作品を鑑賞して、気付いたことや「よさ」について話し合しましょう。

けんさんの作品は、赤い色がとても目立って存在感があるわね。



いちごの赤い色を、パッケージ全体に使うことで、見た人に印象に残るようにしたよ。



〈生徒の姿〉
造形的な視点で作品を見つめ、形や色彩の効果や、作品のイメージを感じ取っています。